X線異物検査用標準試験片取扱説明書

番号：JIMA-D011-RF:2010

1．概　要

この取扱説明書は、X線透過による異物検査機（X線装置）に使用される標準試験片の取り扱い方法について説明しています。使用する前に必ず熟読してください。

2．用　途

本試験片は、X線透過による異物検査機の性能を維持管理するための標準試験片です。

・独自の品質管理基準を設け、定期的に試験片によるX線装置の感度チェックができます。

3．使用環境

下記の温度、湿度範囲内で使用してください。

・温度－10～60℃、湿度85％以下

4．保存環境

下記の温度、湿度範囲で保存してください。

・温度－10～60℃、湿度85％以下

・直射日光、紫外線灯および蛍光灯の下で長時間放置すると試験片や台紙が変色する場合があります。

5．注意事項

・使用開始時、き裂やシール部のはく離がないこと、試験片が台紙から脱落していないことを常に確認してください。万一損傷があった場合はただちに使用を中止し、新しい試験片と交換してください。

・折り曲げたり丸めたりしますとシール部分がはく離し、試験片が脱落する恐れがありますのでおこなわないようにお願いします。

・食品と直接接触して使用する場合は衛生管理上問題です。また水分・油分・薬品などと直接接触する場合には、シール部がはく離する場合があります。いずれの場合にも必ず食品用ポリ袋などに入れてご使用してください。

・使用環境・保存環境以外でのご使用は、劣化の恐れがあります。

・試験片は適宜、消毒してご使用してください。

・試験片を廃棄する場合は、産業廃棄物処理法に基づいて適正に処理してください。

6．運用方法

・混入のおそれが予測される異物に相当する適切な試験片を選定準備してください。

・使用前に試験片の損傷がないことを確認してください。

・検査開始時、終了時、一定時間毎および品種切替時、長期休止再開直後には感度調整／チェックを実施してください。

・実際と同じ検査条件（周囲温度／湿度、検査対象物温度など）で装置の感度チェック／調整を行ってください。

・検査対象により試験片の向きや位置による感度の違いがでる可能性があります。

＊感度は次の要因で影響を受けますので、同一条件で使用してください。

・試験片の設置方向
・試験片の設置位置
・試験片の材質
・試験片の大きさ・長さ
・X線源と試験片の距離
・検査ライン速度
・X線装置の設定条件（X線管電圧／X線管電流／照射時間など）

※実際の試験片の運用方法につきましては、ご購入のX線装置メーカにご相談ください。

※この標準試験片は消耗品です。適宜新しいものと交換して、ご使用してください。

（社）日本検査機器工業会
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町３－２－５
九段ロイヤルビル　3F

お問い合わせ/ご注文は下記へ

食品試験片事務局　TEL　03-3288-5080　FAX　03-3288-5081

注文書書式および価格は http://www.jima.jp をご覧ください。

E-Mail: rttp@jima.jp

2013.5.30